

市民社会と暴力

—日独歴史学の視点から

2011年3月12日(土) 13:30-17:30 (開場 13:00)
会場: 東京大学駒場キャンパスI 学際交流ホール
日独同時通訳付 参加無料 / 事前申込不要
司会: 川喜田敦子(大阪大学)

開会挨拶: 石田勇治(東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター長)

第一部: 基調講演

歴史学のテーマとしての暴力
ヨルク・バベロフスキ (フンボルト大学)
コメント: 石田勇治

第二部: 若手研究者による報告

- 報告1: 刑罰と暴力—「応報」から「教育」へ
佐藤公紀 (東京大学総合文化研究科学術研究員)
- 報告2: ナチ強制収容所とドイツ社会
—国家による暴力独占の境界線—
増田好純 (東京大学総合文化研究科学術研究員)
- 報告3: 「社会知」と暴力経験
—第二次大戦末期ドイツ国防軍兵士の野戦郵便から—
小野寺拓也 (共立女子大学非常勤講師)
- 報告4: 1938年前後の帝国日本における戦争と暴力の表象
ダニエル・ヘディングー (フンボルト大学)

第三部: 総合ディスカッション

総合コメント: マイク・H・シュプロッテ (ハレ大学)
パトリック・ヴァーグナー (ハレ大学)
山脇直司 (東京大学)

総括・閉会挨拶: 古矢旬 (東京大学グローバル地域研究機構長)

[主催]
独立行政法人日本学術振興会・日独共同大学院プログラム(東京大学=ハレ大学)
東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構(IAGS)
東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)
日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B) 市民社会と暴力、市民社会の暴力—ドイツ・ヨーロッパ近現代史再考
日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A) 近代世界におけるジェノサイド的現象に関する歴史学的研究
[お問い合わせ先]
東京大学大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)
東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部9号館313号室
Tel: 03-5454-6112
Email: desk@desk.c.u-tokyo.ac.jp URL: http://desk.c.u-tokyo.ac.jp/